

【特別講演会】

東日本大震災における医療支援活動 ～あの日に見たもの、感じたこと～

山形県立中央病院 副院長
山形県立救命救急センター 副所長



森野 一真先生

Question1. 森野先生って、どんな方ですか？

Answer1. 災害時にDMAT（災害時医療支援チーム）の隊員として、被災地で医療支援活動をしておられます。また、DMATの養成にも関与しておられます。

Question2. どのような活動をされたの？

Answer2. 2007年新潟県中越沖地震、2008年岩手・宮城内陸地震、2008年中国四川大地震での被災地医療支援活動に従事。また、待機型派遣として2008年洞爺湖サミット、2011年APECにおけるDMAT活動にも従事。2011年東日本大震災では、DMAT山形県調整本部、山形県健康福祉部地域医療対策班支援、福島県緊急被ばく医療調整本部支援、宮城県石巻圏合同救護チーム本部支援などを行われています。

日 時：2014年5月26日（月）13:00～13:45

※開催時間に注意（昼休み中～3時間目途中）

場 所：プチテアトル（10号館3階）

事前申し込み：不要



調剤薬局

津波被害と液状化被害を両方受けた。半年たっても水がひかない。



陸前高田市の病院

4階まで浸水した。病院周辺に広がっていた町は、すべてが流された。



公立志津川病院

建物はかろうじて残っているが、内部にはがれきが散乱していた。

【お問い合わせ先】

摂南大学 理工学部建築学科 建築防災研究室

E-mail: ikeuchi@arc.setsunan.ac.jp

